

自分の経験と出会いがここに! 普通じゃないタイ留学

เรียน ที่ มหาวิทยาลัย เกษตรศาสตร์ ใน ประเทศไทย



谷口 美羽

法文学部 法経社会学科 法学コース 4年

Kasetsart University (2024.1.12)

タイの音楽/ドラマ、市場巡り、路線バス

目的/背景 タイに留学した3つの理由

最初のキッカケ

高校にタイ人の留学生がいたことです。とても仲良くなり、タイの話を聞いたりして、興味を持ちました。留学中も遊びに行きました!!

理由① 都会で生活してみたい!

田舎者なので、都会への憧れがありました。バンコクは大都市ではありますが、高層ビルの間にローカルな場所があり、都会とローカルがミックスしています。また、色々な国から人が集まる都市でもあるので、様々な価値観に触れることができたと思いました。



理由② 宗教観の違いを知りたい!

もともと日本のお寺や神社が好きでした。日本とタイは同じ仏教を信仰しているため信仰心に似ているところがあるだろうと思っていたが、実際は全然違いました。その違いから「私は仏教よりも神道的な考え方方が根付いているな」と自分のアイデンティティに気付かされました。※タイ人でもイスラム教やその他の宗教を信仰している人は多いです。

理由③ ジェンダー観に興味があった!

九州ではまだよくある男尊女卑の慣習が大嫌いです。男尊女卑と直接は関わりませんが、女性の社会進出が進んでおり、ジェンダーの多様性がある社会とはどのようなものか興味がありました。街を歩いていても、同性のカップルがいることが当たり前で、私の体感1-2割くらいのタイ人は性的マイノリティと呼ばれる方々です。



ユニークな経験 タイだからこそできること

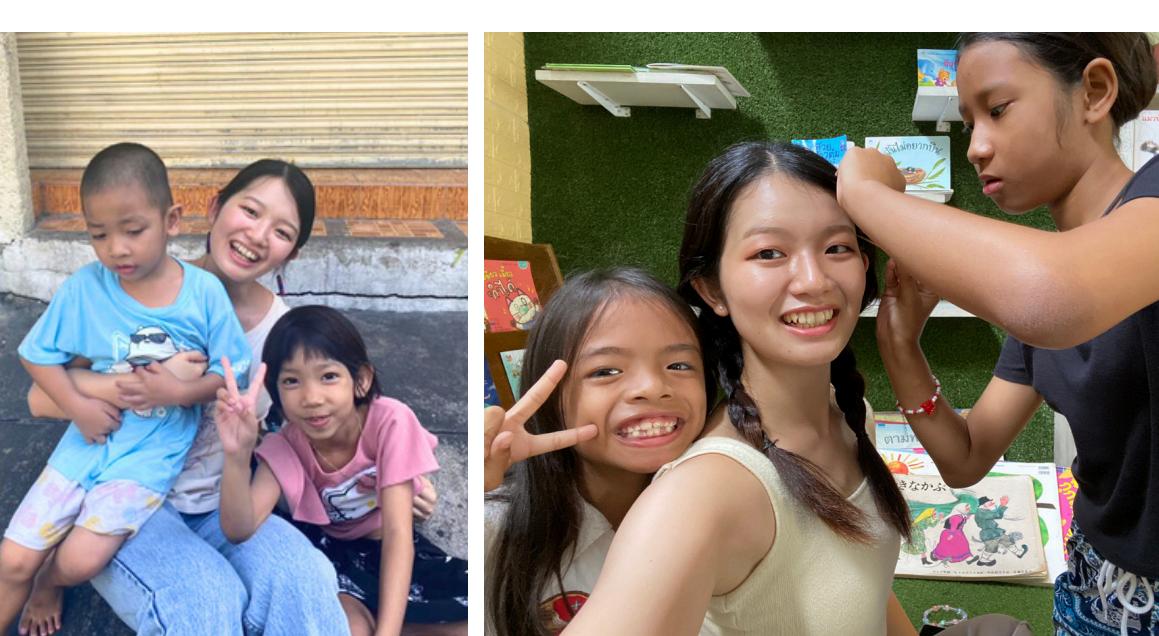
瞑想修行

年末に4泊5日瞑想修行所に滞在
托鉢、読経、瞑想訓練をお坊さんと行う



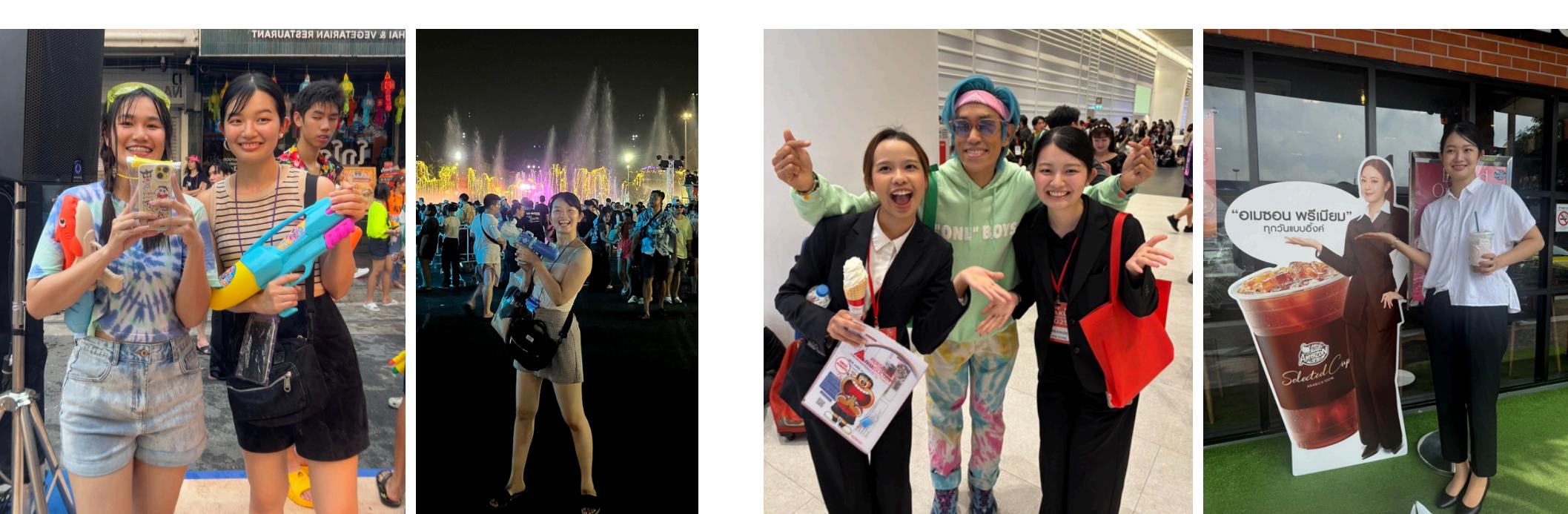
ボランティア活動

バンコクのスラム地区にあるNPO法人にて参加
子どもたちとの交流やスラムツアーを開催

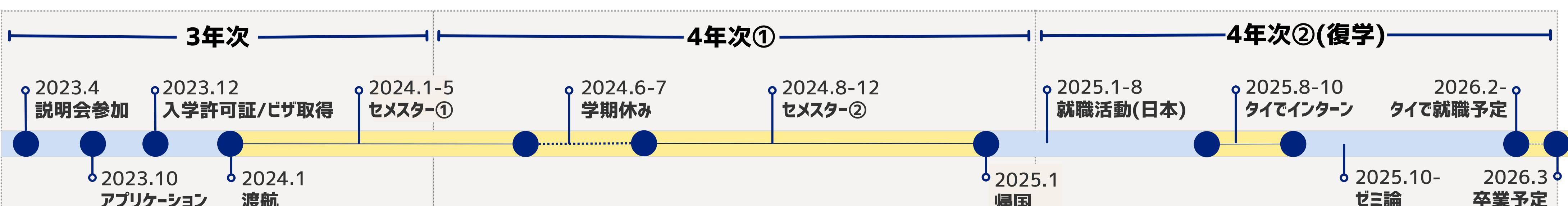


ソンクラーン

毎年4月のタイ旧正月に行われる水かけ祭り
外に出たら問答無用で水を掛けられるカオスな祭り



スケジュール 説明会から卒業まで

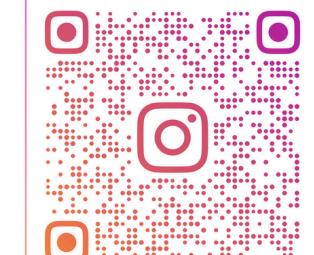


まとめ

留学前に1度も行ったことがありませんでしたが、1年間の滞在で大好きな国になりました。留学中は「主体的に行動する」ことを意識し、学外の活動にも積極的に参加しました。幼少期から人見知りで自分から話しかけるのが苦手でしたが、現地での経験を通して少しずつ克服できたと感じます。留学に行く人は最初から高い目標を持っているように見えるかもしれません、そうでなくても大丈夫です。苦手があつても「自分を変えたい」という気持ちが一步を踏み出す力になります。

卒業後はタイの日系企業で働きます。まさかタイで働くとは思っていませんでしたが、留学が人生を変えるきっかけになりました。少しでも興味があるなら

挑戦して損はないです! アジア圏に興味がある方は、右のインスタに気軽にDMしてください。



↑タイだけじゃない!
アジア留学先の情報



↑インターン先の
YouTubeチャンネルに出演

大学/授業 驚きの連続

制服がある!

大学内売店で、1セット3,000円ほどで購入可能



1コマ3時間

1限9:00-12:00
2限13:00-16:00



5つ星ホテルでパーティー

イベントマネジメントの授業で
パーティーをゼロから企画、当日の進行まで実施!



大学祭が大規模

広大な大学敷地内に屋台やミニ遊園地が並び、
スムーズに歩けないほどの人で溢れかえる

費用

実際どれくらいかかる?

1ヶ月の生活費 合計7-8万円

※物価上昇や円安の影響で年々上昇しています。

日用品5,000円

交通費5,000円

通信費1,000円

家賃

学内の留学生寮にインドネシア人と2人部屋

光熱費5,000円

食費

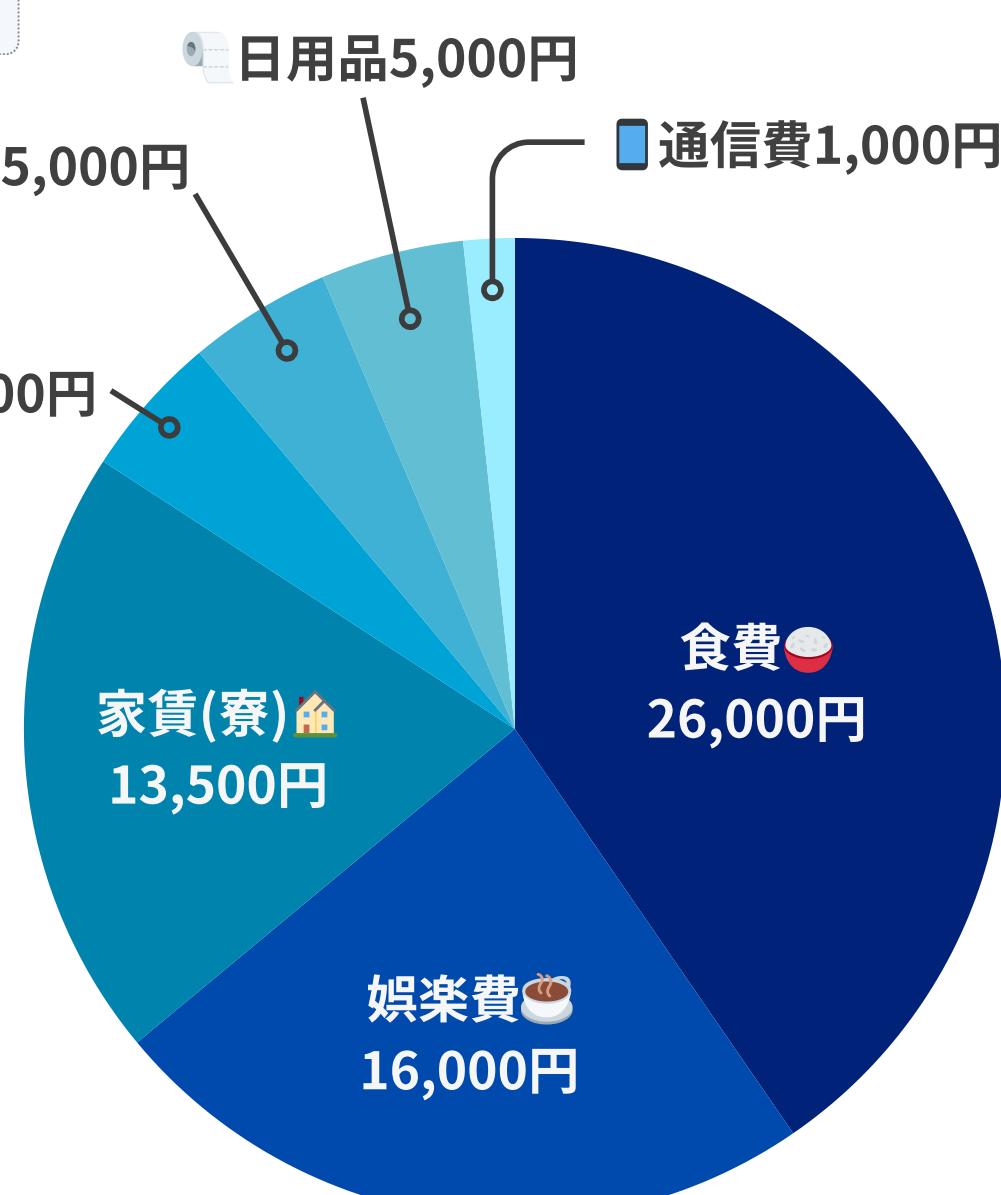
寮の前にある屋台で買うことが多い
1食50バーツ(約225円)前後

光熱費

エアコンの使用量によりかなり変化する

交通費

通学は無料シャトルバスで可能。
外出時は主に電車やバイクタクシーを利用。



注意点

知っておいて欲しいこと!



タイ語勉強すべき! 英語はあまり通じない。

→日本と同じくらい英語が通じない。有名大学の学生は英語できる方が多い。
少しでもタイ語ができれば、タイ人との距離が縮まる!

日本人はまあまあいる。

→日本人のいない環境を求めている人には、向かないかも。
逆に日系企業が多いので、インターンの機会や地位の高い日本人と会える機会が多い。

生活難易度が低い。

→タイでの生活は難しくない。日本の商品や日本食も気軽に買えてしまう。
自分から積極的に行動しなければ、得られるものは少ない。